

ツルゴケ科

ツルゴケ

Pilotrichopsis dentata (Mitt.) Besch.

兵庫県ランク… B

環境省ランク… —

■ 県内分布

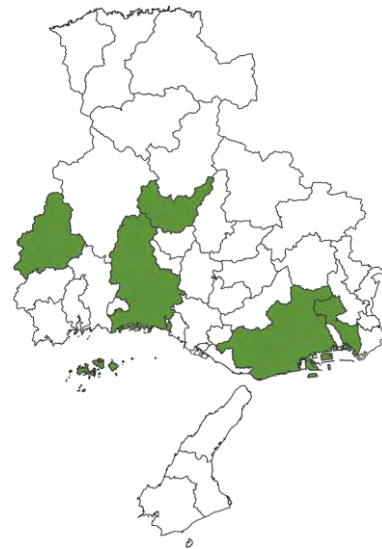
神戸市、西宮市、姫路市、神河町、佐用町

■ 国内分布

本州、四国、九州、琉球諸島

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

アジア各国からも報告があるが、DNAを用いた研究の結果、日本のものはおそらく別種であることが推定されている。神河町、佐用町の産地では絶滅した。

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

大型で一次茎は細くはい、二次茎はときに長さ20cm前後に達する。基物から懸垂することが多く、まばらな枝をほぼ直角に出す。枝葉は長さ1.5-2mm、卵形の基部から披針形に伸び、先端は細く鋭頭、葉縁の中部以上に多くの鈍歯が並ぶ。中肋は細いが葉先近くに達し、上部背面にパピラがある。葉身細胞は長い菱形から楕円形で不規則に肥厚し、平滑。葉基部の縁には小型で横長の細胞が並ぶ。雌雄異株。蒴柄は短く、卵形の蒴は細い苞葉の間に隠れる。外蒴歯の上部に大きなパピラがあり、口環はよく分化する。帽は僧帽状で小さく、長毛がある。胞子は楕円形で、長径40-80μm。沢沿いの林中の樹上や岩上に生育する。